

深頸部膿瘍の入院診療を受けられた患者さんへ

「 深頸部膿瘍後嚥下障害の全国調査 」への協力をお願い

当院耳鼻咽喉科では、日本気管食道科学会認定専門医研修施設に対する全国調査として岐阜大学を代表とする研究機関から依頼を受け、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を提供いたします。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

対象者：2011年4月1日～2021年3月31日の間に当科において、深頸部膿瘍の治療を受けられた方

研究期間：2021年9月7日～ 2025年 3月 31日

研究目的・方法：

深頸部膿瘍は、首全体に膿が広がり、進行すると重症感染症となります。悪化した場合の致死率は高く、生存患者さんのうち約20%の方に嚥下障害（飲み込みの機能の障害）を起こすと言われていています。

この疾患による嚥下障害の実態（嚥下機能検査や問診で評価）と治療（リハビリや嚥下改善手術）効果について全国調査することとなりました。

提供をする情報の種類：カルテに記録されているデータ

- ・深頸部膿瘍のステージ別症例数
- ・症例ごとの入院期間・転帰、問診データ（EAT-10、FOIS、FOSS、FILS）、嚥下内視鏡スコア（兵頭スコア）、嚥下造影所見（PAS）、患者背景（年齢および性別）、転帰、気管切開の有無、気管切開の閉鎖の有無、膿瘍の部位、嚥下障害を来した症例におけるリハビリテーション介入時期（直接訓練と関節訓練）、介入前後の嚥下内視鏡スコア（兵頭スコア）、嚥下造影所見（PAS）
- ・嚥下機能改善手術前後の嚥下内視鏡スコア（兵頭スコア）、嚥下造影所見（PAS）、手術加療介入時期、経口摂取開始時期、術式

情報の提供先：岐阜大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

研究組織：

【研究責任者】

岐阜大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野 教授 小川 武則

【分担研究者】

岐阜大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野 大学院生 飯沼亮太

【共同研究機関】

東北大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授 香取 幸夫

【試料・情報の収集・提供を行う機関】

研究への参加辞退をご希望の場合

新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が研究に用いられることについて了承いただけない場合には提供いたしませんので、以下の連絡先まで申し出ください。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属します。当院及び研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

【当院での連絡先】

【研究に関する問い合わせ先】

岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科（研究事務局）

電話番号 058-230-6279

氏名：飯沼 亮太

研究代表者

岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科

氏名：小川 武則

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1